

# クラブOB会だより

## 平成20年度野球部 OB 会と親睦試合観戦記

伊藤 潔 (昭59)

昨年と同じ11月の第2土曜日に当たる8日、恒例の長葉野球部 OB 会が開催された。場所は江山楼浦上店。案内を送ったのは9月下旬。出席から欠席、欠席から出席への変更の連絡も多く、当日の昼に「出席をお願いします」の連絡を受けた OB も含めて集まった人数は72名。46名の OB と26名の現役部員であった。当日の朝には小西良士先生から「都合で出席はできませんが、盛会を祈ります」というお電話もいただいた。この紙面をかりてお礼申し上げます。全国の OB の力添えがあつてのこの会。昨年好評だったイス席での宴会は、運悪くぼつぼつと降り出した雨の中、5分遅れの6時5分から始まった。

今年のトップニュースは何といっても下村 脩先生のノーベル化学賞。野球部との直接の関係はないかも知れませんが、この話をしない訳には参りません。下村先生は昭和26年卒なので、その一つ先輩に当たる古川 淳長大名誉教授が瑞宝中綬章を受賞されたことをまずご紹介。ご存知の方がほとんどだと思いますが、古川先生は薬品合成化学の教授を務められ、昭和55年から59年まで薬学部長、そして事務手続き上は平成元年から4年まで長葉野球部の顧問をしていただいた大先輩

です。故渡辺三明先生(昭和42)とともに、いつも野球部とともにいらしたといつてもいいでしょう。

46名の OB のうち、昭和年代卒が18名と平成年代卒が28名で、数的には平成組が昭和組を圧倒する形であったのはここ数年変らないところだが、今年は10名が並んだ昭和50年代卒のメンバーのせいか、昭和の文字が力強く感じられた、と言ったら独りよがりだろうか。筆者の2年先輩に当たる中島敏樹氏(昭57)の存在感かも知れない。西脇金一郎野球部 OB 会会長(昭33)もご多忙の中、他の会よりも OB 会を優先して最初から出席いただき、いつもの西脇節挨拶をいただいた。続いて、今年の初頭から薬品分析学研究室の助教に着任した平成12年卒の大山 要先生を紹介して、挨拶を頂戴した後は、司会進行を4年生の川崎雄太君に託し、乾杯の音頭は先にも述べた中島敏樹氏にお願いして、今年も懇親会のプレーボールとなった。

宴会のピッチもいつも通り。多くのアルコールを消費したが、翌9日の OB 戦の OB 側先発メンバーの発表と今泉先輩(昭31)から現役への準硬式ボールの贈呈式と滞りなく進行した。OB 側先発メンバーは次の通り。OB チームオーナー：西



脇金一郎(昭33), 総監督:今泉貴世志(昭31),  
 ピッチャー:吉田泰史(昭55), キャッチャー:山  
 本範之(平4), ファースト:坂田真人(平15),  
 セカンド:城戸充彦(平2), サード:伊藤 潔  
 (昭59), ショート:山口 隆(平12), レフト:上  
 田静雄(昭58) センター:中島敏樹(昭57), ライ  
 ト:上島泰二(昭56)。ままとりの有る戦力が健在  
 の現役に立ち向かうべく, 昭和50年代卒を中心と

したメンバーを集め, 現役打倒を目指し気合いを  
 入れた。

締めの方歳三唱は, 21年ぶりとなる平成11年の  
 九葉連優勝の中心メンバーをお願いした。いづれ  
 も久しぶりの参加の山口 隆, 大山 要(平12),  
 山本 豊, 久保田隆幸(平13)の若い4氏は将来  
 のOB会を盛り上げていってくれるはずである。



### 親睦試合 (OB 戦) 観戦記

前夜の雨にもたたられ, 少し肌寒くなった11月  
 9日。マネージャーの付けてくれたスコアブック  
 によればOBチームの別名は「メガネズ」との  
 こと。グラウンド整備と肩慣らしに続き, OBの先攻  
 で予定通り10時にプレーボール。

考えるのが大変なので守備順がそのまま打順の  
 パターンはここ数年全く同じ。昨夜発表した先発  
 メンバーとはいささか異なるものの, 1番は昭和  
 31年卒の今泉貴世志氏。キャッチャーゴロに終  
 わったが, バットに当ててくるところはさすが。  
 このまま最年長記録を伸ばしていただきたい。今  
 年の試合は, 先取点こそ現役に奪われたものの,  
 3回に追いついた後, 5回以降は最終回まで現役  
 をリードしたままの展開。平成15年卒の坂田がラ  
 イトフェンス最上段を直撃してホームランと判定  
 された打球あり, デッドボールで一瞬ヒヤッとする  
 場面あり, OB, 現役の双方が併殺を決めるな  
 ど, 盛りだくさんの内容。おまけに最終回の7回  
 にはドラマが。マネージャーのスコアブックによ

れば,「最終回はすごく盛り上がりました!! 劇的  
 な幕切れでした。楽しかったです」とある。いろ  
 いろと予想してみてください。正解は長葉野球部  
 同窓会のホームページに掲載しておきます。親睦  
 試合とはいえ, しまった試合ができるのはOBの  
 方の日頃の鍛練(?)の賜か。皆さん, 息子さん  
 とキャッチボールをしたり, 社内のソフトボール  
 大会に参加したりと, ボールを追いかける誘惑に  
 は心動かされるようです。来年もまた, 体を鍛え  
 直して集まってください。

	1	2	3	4	5	6	7	計
OB	0	1	2	0	2	2	?	?
現役	1	2	0	0	0	1	?	?

試合後は恒例の皿うどんパーティー。何かと思  
 い出も多い集会場は跡形もなく解体されてしまっ  
 たので, 柏葉会館を借りての会となったが, いつ  
 ものごとく終わったばかりの試合の話で盛り上が  
 りながら, 今年のOB会を終えた。OBの皆さん。  
 また来年お会いしましょう。

追記：野球部 HP に詳しいOB 戦レポートがありますので、本記事と併せて是非ご覧ください。

<http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/dousou/club/baseball/homebase.shtml>



## 第24回薬学硬式庭球部 OB 会

江藤 康平 (平20)

10月25日、26日の二日間、第24回薬学硬式庭球部 OB 会を開催いたしました。

25日は長崎大学の全学硬式庭球部のコートで OB 対現役生による対抗戦を行いました。今年 OB、OG の先輩方はお忙しいためなかなか都合が合わず、来られた先輩方は少なかったのですが、石黒先生、山本先輩（院昭55）、松原先輩（昭58）、西田先生をはじめとする先輩方がお忙しい中都合をつけて頂き、多くの試合をする事ができました。例年結果は OB、OG の圧勝に終わっており、今年こそはと現役生も練習をして試合に臨んでいましたが、結果は今年も同様でした。しかし、負けた試合でも競った試合もあり、OB、OG の方から学ぶべきことも多く、これから先の課題も指導されることで、現役生にとっては刺激的な対抗戦になりました。

対抗戦後は、懇親会を手羽屋総本店で行いまし

た。参加者は OB、OG、現役生合わせて70名前後にのぼり大盛会となりました。会は、昨年70歳になられた石黒先生へ山本先輩、松原先輩がサプライズで古稀祝いの花束とプレゼントを送ることから始まり、現役生の自己紹介、OB の方々のお話と進み、現役生にとってはテニスについて、仕事について、テニス部を通じたつながりについて等、多くのためになる話をきける会になりましたし、また横だけではなく縦のつながりも深まったように思います。

長崎大学薬学硬式庭球部同窓会も24回を迎え、OB、OG も300人を超える大きな部になりました。来年は25回ということで節目の年を迎えます。今年は残念ながら出席できなかった先輩方も来年の25回という記念すべき同窓会に都合がつけましたら是非、ご参加下さい。現役一同、心よりお待ちしております。

